

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 ① >



今月は…『**子どものむし歯**』です

6月4日は虫歯予防デーです！

今回は歯科医の園田先生にお話を伺いました♪



虫歯は食生活の乱れでなることはよく言われているとおり、子供の虫歯を予防する第一歩は、規則正しい食生活と間食(おやつ)の種類・時間に注意することです。

子供の歯は大人の歯に比べて有機質をたくさん含んでいて、虫歯に対して抵抗性がかなり低くなります。そのため、乳歯の虫歯の進行は、大人に比べると早くなりやすいのです。しかも、大人の歯と比べると歯全体で神経の占める割合が高くなります。そのため、穴を見つけた場合はかなり虫歯が進行しており、神経の近くまで進行していることが多いです。そうなると治療してもなかなか治りにくいです。



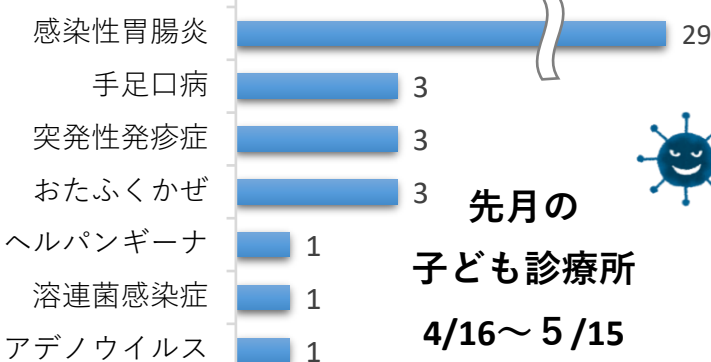
虫歯になっても大人の歯に生えかわることはできます。しかし、子供の歯が虫歯になるとどんどん歯が溶けて小さくなり、それに合わせた歯並びになります。そうすると、すでに顎の骨の中に控えている大人の歯が出るスペースがなくなり出てこられなくなったり、変な場所に出てきたりと歯並びに影響が出ます。歯並びが悪いと大人の歯の虫歯リスクや歯周病のリスクを高めることになります。この2つのリスクが高くなるということは、歯を失うことにつながります。

歯を失うということは、美味しくご飯を食べることが出来なくなるということです。子供の歯の時に虫歯になっている方は、大人の歯も虫歯になっていることが多く、逆に子供の時に虫歯がない方は、大人になっても虫歯になりにくいです。また歯が健康であれば、治療にかかる費用も少なくなりますし、認知症などの発生リスクが低くなることも証明されています。



裏面へ続く☆

< 感染症情報 >



子ども診療所では…

- ・夏風邪のお子さんが出始めました。
- ・先月と比べてPCR検査数、陽性率ともに横ばいです。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・引き続き微熱、鼻水、咳など軽い風邪症状のおさんが入室しています。
- ・熱が長引くおさんもいらっしゃいました。

表ページの続き☆

家庭での規則正しい食事、間食、生活は理想ですが、現実はなかなかそうはいきません。コロナ禍でマスク生活が日常となり、歯科医院に来る子どもたちも、治療前後にこちらが言わなくても、当然のようにマスクの着脱をしてくれます。これは学校での感染予防の教育が徹底されているためです。



そのように家庭だけでなく学校教育の現場から、歯の大切さや、健康の尊さ、命の大切さを当たり前身に着けていけることが一番と考えます。まただれでもいつでもよりよい医療が受けられる世の中にしていくことが大人たちの使命・・・と思うこの頃です。

相互歯科 小児歯科医師 園田真里

子ども診療所では毎月、第1第3水曜日、乳児健診の際に歯科衛生士さんに歯科相談できる機会を設けております。是非ご利用ください。

相互歯科に直接ご相談も可能です。
健生会 相互歯科 TEL042-525-6480



病児保育室ばおばおご利用の際もいつもお使いの歯ブラシをお持ちいただいても大丈夫ですよ♪

歯が生え始めたらいつでも！0歳から定期検診を

お子さんの小児歯科通いは、歯が生え始めたらいつでも可能です。問題ないどころか、実は「赤ちゃんの頃から定期検診を受ける」ということは、多数のメリットがあります。



- ・虫歯菌を遠ざけられる(虫歯の予防)
- ・磨きかたや、子どもの歯の健康に適した食生活のアドバイスが受けられる
- ・歯医者さんの雰囲気慣れておける！！

小さな頃から歯医者さんの雰囲気に慣れていれば、いずれ「ここは大丈夫なんだ！」と理解して、立派に定期検診を受けられるようになります。

健康な乳歯は健康な永久歯へ、そして健康な成長に繋がります。”まだ赤ちゃんだから早すぎる”ということはないのです。一生付き合う自分の歯を大切にする習慣がつけられるよう、小さな頃からぜひ小児歯科で定期検診や歯に関するアドバイスを受けてみてはいかがでしょうか。

保育室のご利用には 事前の登録が必要です！

見学の間合せも
どうぞ♪

何かお困りの際にご相談ください。

* 育児相談も受け付けています

お問い合わせ 病児保育室ばおばお (月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777